

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和7年6月30日(2025.6.30)

【国際公開番号】WO2023/280701

【公表番号】特表2024-522912(P2024-522912A)

【公表日】令和6年6月21日(2024.6.21)

【年通号数】公開公報(特許)2024-115

【出願番号】特願2023-580462(P2023-580462)

【国際特許分類】

A 0 1 N 4 7 / 0 6 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 0 1 P 1 3 / 0 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 0 1 N 3 5 / 1 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 0 1 N 4 3 / 4 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 0 1 N 4 3 / 9 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

10

【 F I 】

A 0 1 N 4 7 / 0 6 Z

A 0 1 P 1 3 / 0 0

A 0 1 N 3 5 / 1 0

A 0 1 N 4 3 / 4 0 1 0 1 H

A 0 1 N 4 3 / 9 0 1 0 3

20

【手続補正書】

【提出日】令和7年6月20日(2025.6.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

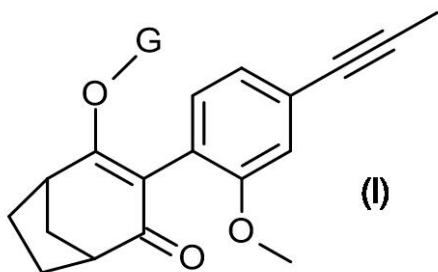
【特許請求の範囲】

30

【請求項1】

(A) 除草有効量の式(I)

【化1】



40

(式中、Gは、水素、 $-C(O)CH_3$ 、及び $-C(O)OCH_3$ からなる群から選択される)

の化合物と；

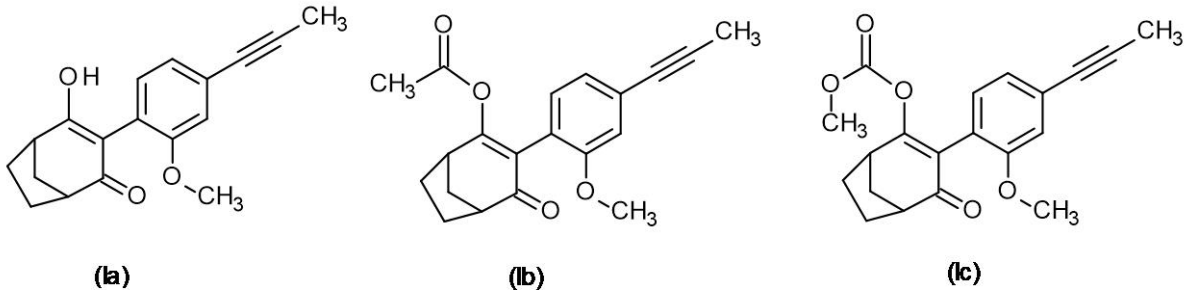
(B) アセチルCoAカルボキシラーゼ(ACCアーゼ)阻害除草剤と、を含む除草剤組成物。

【請求項2】

式(I)の前記化合物が、式(Ia)、(Ib)、及び(Ic)

50

## 【化 2】



10

からなる群から選択される、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

## 【請求項 3】

式 (I) の前記化合物が式 (Ic) である、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

## 【請求項 4】

成分 (B) が、クレトジム (B1)、クロジナホップ (B2) フェノキサプロップ (B3)、フルアジホップ (B4)、ハロキシホップ (B5) ピノキサデン (B6) 及びプロパキサホップ (B7)、又はいずれかの成分 (B) の農薬上許容されるエステル若しくは塩からなる群から選択される、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

## 【請求項 5】

成分 B が、クレトジム (B1)、クロジナホップ (B2)、クロジナホップ - プロパルギル (B2a)、フェノキサプロップ (B3)、フェノキサプロップ - P - エチル (B3b)、フルアジホップ (B4)、フルアジホップ - P - ブチル (B4a)、ハロキシホップ (B5)、ハロキシホップ - P - メチル (B5a)、ピノキサデン (B6) 及びプロパキサホップ (B7) からなる群から選択される、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

20

## 【請求項 6】

成分 B がクレトジムである、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

## 【請求項 7】

前記組成物が追加の除草剤成分 (C) をさらに含む、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

## 【請求項 8】

成分 (C) が、グリホサート、グルホシネート、2, 4 - D、ジカンバ、アセトクロル、メトラクロル、S - メトラクロル、及びピロキサスルホンからなる群から選択される除草剤である、請求項 7 に記載の除草剤組成物。

30

## 【請求項 9】

ある部位における雑草の防除方法であって、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の除草剤組成物の雑草防除量を前記部位に施用することを含む、方法。

## 【請求項 10】

作物植物と雑草とを含む部位における雑草の選択的防除方法であって、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の除草剤組成物の雑草防除量を前記部位に施用することを含む、方法。

## 【請求項 11】

前記作物植物が除草剤耐性形質を含む、請求項 10 に記載の方法。

40

## 【請求項 12】

前記作物植物が、成分 (B) 及び / 又は (C) に対する耐性が得られる除草剤耐性形質を含む、請求項 11 に記載の方法。

## 【請求項 13】

前記作物植物がダイズ又は綿である、請求項 10 に記載の方法。

## 【請求項 14】

前記雑草が、アロペクルス属の種 (*Alopecurus* sp.)、カラスムギ属の種 (*Avena* sp.)、ジギタリア属の種 (*Digitaria* sp.)、エキノクロア属の種 (*Echinochloa* sp.)、エレウシネ属の種 (*Eleusin*

50

e sp. ), ロリウム属の種 ( Lolium sp. ), セタリア属の種 ( Setaria sp. ), 及びソルガム属の種 ( Sorghum sp. ) からなる群から選択される種を含む、請求項 9 に記載の方法。

【 手 続 補 正 2 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 5 0

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 5 0 】

【 表 8 】

10

表B4: 式Icの化合物及びB6 (ピノキサデン)の組合せ。

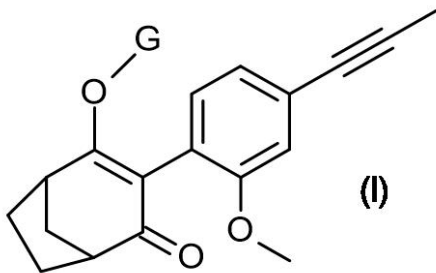
処理	TRCIN ススキメヒシバ( <i>Digitaria insularis</i> )- 後 - 13DAA			
	割合 g/ha	観察	予測	差
Ic	1.88	48		
B6	0.94	0		
	1.88	20		
	1.88 + 0.94	55	48	7
	3.125 + 1.88	80	58	22

20

本発明のまた別の態様は、以下のとおりであってもよい。

〔 1 〕 ( A ) 除 草 有 効 量 の 式 ( I )

〔 化 1 〕



30

( 式 中 、 G は 、 水 素 、 - C ( O ) C H <sub>3</sub> 、 及 び - C ( O ) O C H <sub>3</sub> か ら な る 群 か ら 選 択 さ れ る )

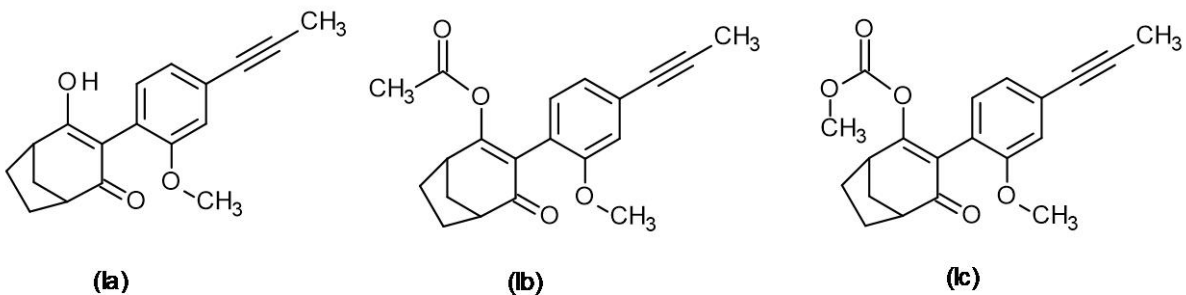
の 化 合 物 と ;

( B ) アセチル C o A カルボキシラーゼ ( A C C アーゼ ) 阻 害 除 草 剤 と、  
を 含 む 除 草 剤 組 成 物。

〔 2 〕 式 ( I ) の 前 記 化 合 物 が 、 式 ( I a ) 、 ( I b ) 、 及 び ( I c )

40

〔 化 2 〕



50

からなる群から選択される、前記〔1〕に記載の除草剤組成物。

〔3〕式(I)の前記化合物が式(Ic)である、前記〔1〕又は前記〔2〕に記載の除草剤組成物。

〔4〕成分(B)が、クレトジム(B1)、クロジナホップ(B2)フェノキサプロップ(B3)、フルアジホップ(B4)、ハロキシホップ(B5)ピノキサデン(B6)及びプロパキザホップ(B7)、又はいずれかの成分(B)の農薬上許容されるエステル若しくは塩からなる群から選択される、前記〔1〕～〔3〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物。

〔5〕成分Bが、クレトジム(B1)、クロジナホップ(B2)、クロジナホップ-プロバルギル(B2a)、フェノキサプロップ(B3)、フェノキサプロップ-P-エチル(B3b)、フルアジホップ(B4)、フルアジホップ-P-ブチル(B4a)、ハロキシホップ(B5)、ハロキシホップ-P-メチル(B5a)ピノキサデン(B6)及びプロパキザホップ(B7)からなる群から選択される、前記〔1〕～〔4〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物。

10

〔6〕成分Bがクレトジムである、前記〔1〕～〔5〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物。

〔7〕前記組成物が追加の除草剤成分(C)をさらに含む、前記〔1〕～〔6〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物。

〔8〕成分(C)が、グリホサート、グルホシネート、2,4-D、ジカンバ、アセトクロル、メトラクロル、S-メトラクロル、及びピロキサスルホンからなる群から選択される除草剤である、前記〔7〕に記載の除草剤組成物。

20

〔9〕ある部位における雑草の防除方法であって、前記〔1〕～〔8〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物の雑草防除量を前記部位に施用することを含む、方法。

〔10〕作物植物と雑草とを含む部位における雑草の選択的防除方法であって、前記〔1〕～〔9〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物の雑草防除量を前記部位に施用することを含む、方法。

〔11〕前記作物植物が除草剤耐性形質を含む、前記〔10〕に記載の方法。

〔12〕前記作物植物が、成分(B)及び/又は(C)に対する耐性が得られる除草剤耐性形質を含む、前記〔11〕に記載の方法。

〔13〕前記作物植物がダイズ又は綿である、前記〔10〕～〔12〕のいずれか一項に記載の方法。

30

〔14〕前記雑草が、アロペクルス属の種(*Alopecurus* sp.)、カラスムギ属の種(*Avena* sp.)、ジギタリア属の種(*Digitaria* sp.)、エキノクロア属の種(*Echinochloa* sp.)、エレウシネ属の種(*Eleusine* sp.)、ロリウム属の種(*Lolium* sp.)、セタリア属の種(*Setaria* sp.)、及びソルガム属の種(*Sorghum* sp.)からなる群から選択される種を含む、前記〔9〕～〔13〕のいずれか一項に記載の方法。

40

50